

【目的】 経験の浅い教員の専門性向上に関する研修体制の構築やサポート体制の研究を行い支援体制の充実を図る



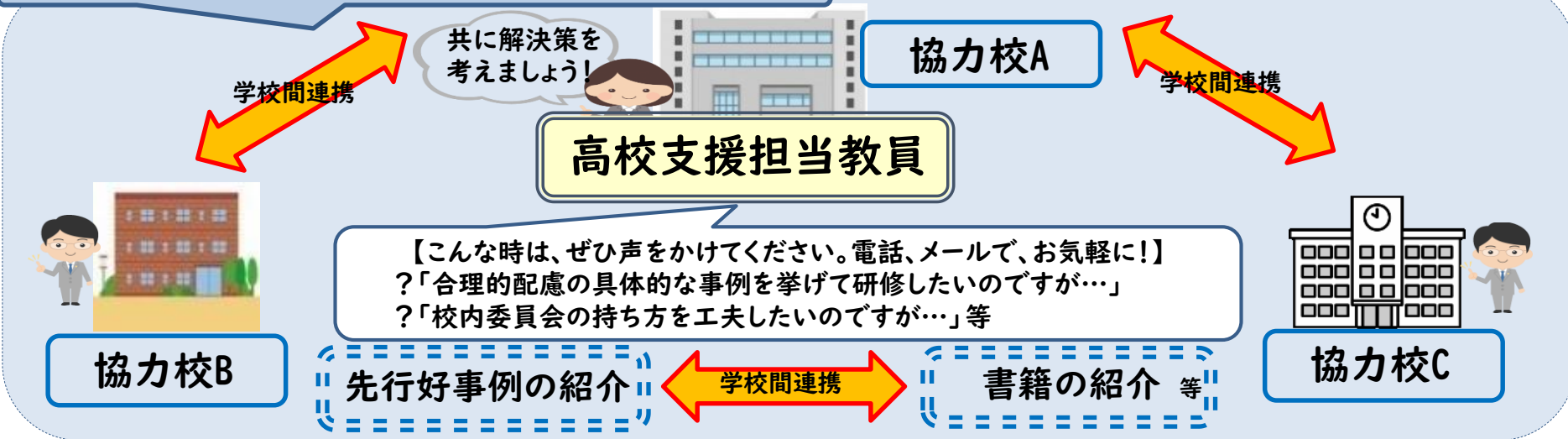
スキルアップ事業：研修体制の構築・サポート体制の構築

【別紙4】

【協力校の取り組み「高等学校における特別支援教育の推進」】

- ・本事業で作成した研修資料等の活用や特別支援教育の視点から生徒理解を促す相談支援を行い、「子どもから学び、協働して取り組む力」を育成
- ・令和2、3年度の協力校の指導的立場にあった教員を「高校支援担当教員」に任命し、相談窓口を整備することで、サポート体制を構築

○ 協力校3校における「高校支援担当教員」を中心とした連携体制



指導助言

★外部指導者による指導助言

外部指導者連絡会(年4回)

外部指導者:関係機関(7名)
・「特別支援マスター指標」に基づいた研修の内容や方法について協議したり、地域の支援体制について指導助言したりする。

情報の共有

指導助言

特別支援教育スキルアップ検討会議
(外部指導者、専門指導員年間4回)

- 研修内容の検証
・「特別支援マスター指標」に基づいた研修内容の改善
- 相談支援体制の検証
・学校と関係機関との連携

情報の共有

指導助言

★専門指導員による指導助言

専門指導員連絡会(年3回)

専門指導員:教員OB(2名)
【年間90回×2名】
・協力校における経験の浅い教員への研修や校内支援体制についての指導助言をする。